

玉野市立学校適正規模化地域説明会（日比中学校区） 会議録（概要）

- 日 時 令和4年7月22日（金）19:00～20:30
- 場 所 生涯学習センター 多目的ホール
- 出席者 妹尾教育長、小崎次長、山内教育総務課長、的場学校教育課長
- 参加者 8名（地域8）

1 開会

教育長あいさつ

2 説明

これから玉野市の課題と、「こういう目的を持って適正規模化を進めるならこういう統合パターンが考えられる」というシミュレーションの内容を説明する。

現在は適正規模化について、第三者委員会である適正規模・適正配置検討委員会に諮問している段階で、玉野市立学校適正規模化計画は、検討委員会から出される答申を元に、令和6年3月頃を目処に策定したいと考えている。

したがって、現時点で学校の統廃合の具体的な計画はない。

本日は、何かを決定するというものではなく、今後検討委員会で協議を進めるにあたり、適正規模化に対する地域の思いや考え方を伺う会とご理解いただきたい。

（資料に沿って教育総務課長説明）

3 意見交換

教総課長：まず、ここまでの説明で分かりにくかった点、疑問に思う点などあればご質問いただきたい。

参加者1：適正規模化と言うが、これが「適正」とする根拠は何か。また本当にそれが適正と断定できるか。

教総課長：何が適正かという、正直それは分からない。学校教育法施行規則で標準とされる12～18クラスを適正規模とはしているが、一番の目的は複式学級の解消にある。できればクラス替えができる1学年2クラス以上の状況を作りたいが、それは我々の考えであって、検討委員会の中で議論を深めていただきたい。

参加者2：第三者委員会の構成メンバーで校長が4名いるが、4名の校種は何か。

教総課長：小学校の校長が1人、中学校の校長が1人、幼稚園の園長が1人、保育園、認定こども園から1人だ。

参加者3：アンケートを実施しているが、教職員を対象としたものはもう届いているか。また、小学校3年生以上にアンケートを配ると聞いているが、それはどうなっているか。

教総課長：教職員向けのアンケートは本日の夕方に学校に通知をした。週明けには手元に届くと思う。児童生徒は小学4年生以上を対象に、学習用端末を使って回答できるようなアンケートを予定している。これは2学期に入ってからお知らせしたい。

参加者4：施設の維持に年間9.3億円の経費が必要とあるが、これは数字のマジックで、ちょっと適正でないように思う。というのは、今後40年間の総額を割っているからだ。40年先に玉野市の人口は何人になると思っているか。20年先でも3万6千人という話だ。だから維持費が2.2倍になるというのは数字のマジックでごまかしだ。10年か、長くて20年の見込みとして試算するのであれば妥当性はある。

40年先の玉野市の人口は2万か3万を切るくらいになる。自分は議会で経験があるから分かるが、知らない人を見ると、2.2倍にもなるのかとなる。受け取る側にすごい額が必要という印象を与える。これは適正でない。

40年先に玉野市の人口は何人になるか。そんな先の先のことまで考えて検討する必要はない。人口そのものが3万6千になるかというのに、40年後に維持費がこんなにかかりますよといっても、372億という数字をどこから出したのかという話になる。このような数字を出して、こんなに維持費がかかるのかという印象づけだけになってしまう。

こういう数字の誤魔化し的なことを時々玉野市はやる。こんなことは絶対に許されない。

教総課長：この40年というのは、あくまで今ある小学校、中学校をすべて維持していくとどうなるかという想定だ。人口とは関係なく、どんなに小規模になっても学校を維持するのであれば、これだけ必要ですよと...

参加者4：そんな数字を出すこと自体に根拠性がないと言っている。

教総課長：だから統廃合が必要ということ言いたい。仮に20年後まで学校を持たせるとしても、築40年、50年を過ぎている建物がたくさんあるので、それなりの大規模改造や改築は必要になってくる。単純にこのグラフを半分に分ければ向こう20年の経費が出るが、その間の平均は、おそらく40年の平均よりも高くなる。

参加者4：20年間というのは、比較的新しく整備しているところが多いから、令和25年、28年のあたりは低い。

40年後の玉野市の人口は減る一方で、3万6千どころか3万を切る。経費を把握する意味合いでやるのなら、やま20年間にすれば、令和23、4年までの数値のグラフができて、これを割った方がより正確に当面の15年20年先が分かる。そう直さないで、33年頃から経費が要るようになって、後半はものすごく高くなる。資料を直す気がないのなら仕方がないが、もう少し現実に合わせた、せいぜい20年くらいの正確さを出さないと、40年先も先の話を書いて何をしているのかと誰でも思う。

単純にこれだけを見たら、4.2億円が9.3億円、2.2倍にもなるのかと、それだけ印象付ける非常に姑息な数字の出し方だ。自分は議会で何回もやっているから分かる。もう少し正確な形で数字を挙げてほしい。

教総課長：念を押しておきたいが、どんなに人数が少なくなっても今の学校を維持するのであれば、これだけかかるということだ。

参加者4：そんなあり得ないことを数字で出しても仕方がない。

教総課長：つまり適正規模化を進めても良いということか。

参加者4：違う。このデータそのものをもう少し正確なものに見直してほしいと言っている。

40年先に玉野市の人口が2万になって、これだけ経費がかかるという話ではできないでしょ？ 教育長は言っている意味が分かるでしょう？ いかにか経費が多くかか

るかを印象付けるために作っているようなデータだ。これは正確でない。それを課長が分からないのだからどうしようもない。だからもう反論しなくて良い。私の言っていることの方が明らかに説得力がある。40年先のことを誰が分かるのか。

教総課長：40年維持し続けたらこうなるという話ですから...

参加者4：そんな数字に意味はない。

教総課長：なぜですか？

参加者4：根拠もないし意味がない

教総課長：なぜでしょうか？

参加者4：20年先ならまだ分かる。10年先も出してみれば良い。それなら分かる。聞き置くとならば済む話だ。もう少し正確に数字は出すようにしてください。

参加者5：質問には答えてもらう必要があるが、意見には「ああ意見ですね」で終わった方がいいのではないか。今日は皆さんの意見を聞く、その意見に対して説明をする会ではないと最初に言った。お願いします。

教総課長：はいすみません。

参加者5：以前は、小規模校、中規模校、大規模校と言っていた。その中規模校が適正規模という表現にすり替わっているように思うが、いつから中規模校ではなく適正規模校と呼ぶようになったか。

教総課長：申し訳ない。把握していない。

参加者5：昔は中規模校と呼ばれていたのは知っているか。

教総課長：言葉としては知っている。

参加者5：小規模校のデメリットで、例えば「集団の中で自己主張をしたり、他者を尊重したりする経験を積みにくく、社会性やコミュニケーション能力が身につけにくい」、これは証明されているか。エビデンスはあるか。

それから「児童生徒の人間関係や相互の評価が固定化しやすい」、ありそうな気はするが、これは大規模校や中規模校では生じないのか。

それから「協働的な学びの実現が困難となる」、何人いれば協働的な学びができるのか。それにエビデンスはあるのか。

私は複式学校の出身で、1年から6年まで同級生は6人しかいなかった。中学校で一気に全校生徒750人に放り込まれた。1クラス40何人かの中に知っている子はいなかったがここまでやってきた。それを思えば、ここにある小規模校のデメリットは、本当にデメリットなのかと思うし、改善できるのではないと思う。それは教師のやり方にもあるだろうし、行政の方で、例えば先生をたくさん配置するとか、やればできると思う。それに最近はタブレットで世界と繋がるわけで、私が子どもの頃よりずっと進んでいる。そう考えたら、なぜ小規模がデメリットなのか。一定の人数がいないと切磋琢磨しないというのは、はたしてそうなのかと思う。このデメリットについて、きちんと説明してほしい。

教総課長：エビデンスと言われると正直困ってしまう。メリット、デメリットは傾向として言われていることで、平成27年に文科省がまとめた「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」から抜粋して掲載している。

参加者5：ですね。だからはっきりとは決まっていない。文科省が言っていることがすべて正しいとは思わない。

参加者6：もしスクールバスを使うことになった場合、スクールバスのお金は保護者が負担するのか。

教総課長：現時点で断定的なことは言えないが、適正規模化によって必要になったスクールバスの費用は、行政で負担すべきではないかと考えている。

参加者1：小規模校とそうでない規模の学校と、実際に比較したことはあるか。学力面で複式は落ちるとか、大規模中規模の方が良いとか、いろいろ条件はあると思うが、そう言い切れるか。

それから、気になっているのが不登校の割合だ。私はいま、荘内小の子どもたちの通学の見守りをしているが、最近顔を見ない子がいてどうしたのかなと思う。

それから、あそこまで来るともうへろへろだと言う。荘内小は大きすぎる。距離が大きすぎる。適正ではない。そういうことで不登校の割合を聞きたい。

それから、問題行動がどうなのか、小規模はダメだと言われているような気がするが、本当にダメなのか。そういう問題がもし小規模の方が頻発しているのであれば、それは規模によって生じるものだろうか。検討していれば教えてほしい。

学教課長：学力について、規模によって明らかな学力差が出ているというものではない。規模に関わらず、それぞれの学校の状況次第だ。学力と一言に言うと、学力検査の数字の上でしか見比べることができない。学びに向かう姿勢や自主的に学んでいく力も含めて学力であるが、その部分は数字として測ったり比較したりができないので、規模によってどうなのかは明確になっていない。

不登校の割合についても同様だ。それぞれの学校やそれぞれの家庭、地域など、様々な要因原因があるので、学校規模によって何かはっきりしているものはなく、大規模小規模にかかわらずというところだ。

問題行動についても同じだ。大規模であっても、小規模であっても問題行動は起こる。学力、不登校、問題行動は、規模にかかわらず様々な原因、環境が影響するものだ。

一点補足をしておくと、デメリットの部分について確かにエビデンスはないが、学校訪問等の中で「少ない人数で活動をする、様々な課題等感じる」という声を聞いたことはある。そういった学校現場の声が挙がっている。

教総課長：次に、適正規模化そのものに対する考えを伺いたい。賛成、反対、言っていることは分かるが反対、気持ちは反対だけど仕方がないとかあると思うがどうか。

参加者7：まず適正化の数字自体に根拠がないと思う。子どものためと強調したが、実際には自分たちの教育費を少なくするため、これが一番の目的だと思っている。だから教室の床面積がどれだけとか、人数が25人以上でないと教室の維持ができないとか出てくるのだと思う。

もっと、子どもたちは地域で育っているというところを見てもらいたい。二日比小学校は日比小から分かれたが、もう70年経って地域にとけ込んだ小学校だ。お祭りや運動会や、日比地区が二日比の小学区としてずっとやってきた。それを二日比は日比に行けと言ってすごく広い範囲にするということは、いままで培ってきたものを潰していくような形になる。地域の人たちも、ここに学校があって、子どもたちの声が聞こえるから頑張ろうというのもあると思う。

もう一つは福祉面で、玉野市はサロンを作っていて、二日比学区には「えがお」、和田地区には「なごみ」という施設がある。これも学校を中心にそれぞれで作ろうというのに、その学校を潰していこうとしている。だから私は、児童が少なくなっても、できれば統廃合したくないというのが一番の思いだ。

お金のことをすごく言われたが、それはその時になって考えれば良い。最終的には、日比小の方が校舎が新しく高いところにあるから、津波の心配も少なくても良いと思うが、今の段階で進めていく必要はないと思う。複式でも良いと思う。

いま、幼稚園や保育園が認定こども園になってどんどん数を減らしているが、あれもおかしいと思う。おばあちゃんやおじいちゃんも、子どもを迎えに行きたいけど、遠くなって行けない人もいっぱいいると思う。だからもっと、考え直してもらいたいと思う。すぐに統廃合のことを持つてくる必要はないと思う。

参加者3：学校現場での肌感覚として思うことを言う。小規模校のメリットやデメリットが書かれているが、これは小学校低学年から中学校まで、発達段階の違う子どもたちを考えた場合に、当てはまることや当てはまらないことが、きっとあると思う。

不登校の出現率の話があったが、きめ細やかな指導ができるという部分からは、小規模校の方が出現率が低いのではないかという肌感覚はある。

私自身は、子どもがどんどん減っていく部分では、どこかの場面で統廃合をせざるを得ないことは理解できるが、できるだけ遅い時期にすべきだと思う。先ほど言われたように、コミュニティの中心に学校はなっているし、大切な場所であると働いていて思う。だからできるだけ遅くとすごく思う。

複式学級については、私は経験していないが、教員が少なくなる部分では、教員にとっては負担が大きくなるのではないかと想像する。ただ、どのように加配がつくかなど、行政や政治の動きで変わるので、これも急ぐ必要はないというのが私の思いだ。いま35人学級だが、これが30人になったり25人になったり20人になるという、世界的にも少人数学級を目指す流れがあり、5年先、10年先に状況が変わる可能性に期待したいと思っている。

アンケートに望ましい学級数の項目があったが、普通に考えれば2クラス、3クラスが良いと私も仕事をしていて思うが、2学級で35人と、1学級で20人であれば、それは1学級20人の方が子どもたちをよく見れるし、自信を持って指導できると思う。私は仕事をしながらそう感じている。

参加者7：複式になっている学校で、地域から、複式で困るという意見がたくさん出ているか。私はそんなに出ていないと思う。その地域を守ってくれと言う人の方が多いと思うので、いま進めようとしていることと地域の人とはかけ離れているのではないかと思う。

親たちは近くで子どもを見たい、4km以上離れた学校に朝早くバスに乗って行かせて、またバス代も絶対タダじゃないと思う。そういう親の負担も増えると思うので、時間的なことも考えたら、近くで遊べるような形、複式が悪いのではなく、それでもいいよという形でしたらと思う。

学教課長：現在複式の学校について、地域からの声は特に聞いていないが、保護者から「やはり考えていかなければいけない」という声が挙がったと学校から聞いている。

参加者1：保護者は色々な考えがあると思う。私はまだまだ統廃合はしなくていいと思っている。子どもたちが成人して外へ出て、出たけれども帰ってくるような社会が来ればいいと思うが、帰ったら学校がないというのではいけないと思う。

先日、検討委員会の傍聴に行ったが、最後に公募の委員が凄いことを言った。玉野の教育は間違っていたと。子どもたちが出て行ってしまっただけで帰って来ないじゃないかと。私はそれにすべて賛成ではないが、これは一つ大事なことを言ったと思った。

まだ統合はしなくていいと私は思う。私はもう子も孫もこちらにいないので、やはりいま子どもを抱えている保護者の方や、そこに学校がある地域の方、そういう人がしっかりと考えを持って行くようにしてほしいが、その時にお願いしたいのは、小規模校や複式が悪いばかりではないということだ。

デメリットは工夫すれば改善できるはずで、行政はその責任があると思う。そういったことをしっかりと伝えた上で、やはり大勢いる方がいいから統合してくれという意見が多く出たのであれば、私はそれでいいと思う。

だけどいま聞いていると、このままだったら統合しかありませんよと聞こえてしまう。はたしてそうなのかをしっかりと考えてもらえるように、一方的な考えを主張するのはやめてほしいというのが私の思いだ。

参加者4：維持費の考え方の中で、過去5年間の数値を平均しているが、過去10年間の実績を入れて、向こう10年間、それ以降の部分は省いて、もう少し正確な形でした方が分かりやすいと思う。たぶん耐震化の工事がこれより前にある。確かに維持費は必要だが、皆さんから話があったように可能な限り、地域の皆さんが大方理解できて、これだったらというふうになるなら分かるが、まあ最大限、統廃合は急ぐ必要はないという意味合いで言っている。

教総課長：耐震化の部分についてだけ。平成27、28年にも耐震化の費用はかかっているが、ここには含めていない。イレギュラーなものということで含めていない。

(当日の説明で、グラフには令和元年、2年に整備したエアコンの経費は含まないと発言しましたが、「エアコンの設置費用は含む」の誤りです。お詫びいたします。)

参加者8：小規模の中学校に教師という形で指導者を配置していた。複式がダメだということであれば、市独自で教師を配置すれば、先ほどの教員の負担は増えるという話は、数が少ないから色々な行事の分担が多すぎるという意味合いでもあると思うので、指導者の数を増やせば解消できるのではないか。それは費用がかかるが、教育委員会は財政部にもっともっと予算を要求するとか、一生懸命に努力する姿勢がここ20年ほど見えていない気がする。

補助員とか、指導員とか、教員の免許を持ってない人がどんどん現場に入ってきてくれているが、市は人数を減らしているとか、司書も減らしているとかそんな状況で、尚且つここでどうにかしようというのは、やはりお金を出したくないということが見える。予算をもっと確保してください。無理とか言わずに最大限努力してください。その姿勢がないとダメだと思う。

教総課長：次の質問に移る。仮に適正規模化を進めるとして、配慮すべきこと、地域に対して、あるいは子ども、学校対して配慮すべきことはどういうことがあると思うか。

参加者7：早く進めないことだ。早くできるようになったからしよう、という感じで進めたら、複式にならないところも統廃合の中に入れてしまっ、学校を早くなくそうという方に進んでいくのではないかと思う。

先ほどもできるだけ遅くと発言したが、保育園や幼稚園がどんどん進んでいくのを見ていると、地域の方はそちのけで、進める方が先になっているから、そうならないように、もっともっと意見を聞いてほしい。

教総課長：意見が出にくいようなので、特にテーマは設けず、これは言っておきたいということがあればお願いしたい。

参加者1：地域や保護者の意見をしっかり聞いてほしい。当然そうなりますよというふうに見えて仕方がない。鉾立の耐震化はすったもんだしたが、その人たちが一生懸命学校を残したいと言われているのを聞いていると、全部同じようにするのではなく、それぞれの地域、保護者の意見で進めることを特にお願いしたい。

荘内には幼稚園が2つあって、一時期統合の話があったが、南幼稚園の人たちが反対して残っている。学校評議員をやっている関係で南幼稚園の授業参観に行く機会があった。8人のクラスで七夕飾り作りに取り組んでいた。分からないときには隣の子に聞いていて、教え合う姿を見ると、ああやっぱりいいなと思うと同時に人数が多かったら難しいのではないかと思った。

この中に「多様な意見に触れることができる」というのがあるが、私は長いこと教員をやっていて、そのへんは自信がない。多様な意見がどんどん出てくると困ってしまう。みんなに喋らせようと思ったら時間がなくて困ってしまう。むしろうちちょっと少ない方が、子どもたちは思っている意見をどんどん言える。多くなるとそれは難しくなるし、教師の方も統制することが強くなると思う。

参加者7：中学校区で想定される統合パターンというところを見ているが、日比中が玉中と一緒になるとい、ここまで出すのかとすごい不安になる。まず、日比と和田だけが、中学校と一緒にだから考えられるけれど、玉中までここで考えてというのは、これはひどいと思う。取り下げてほしい。

参加者8：一つ前の意見交換の設定が、統廃合をすることが前提で、これに気をつけてと言っていると認めたことになる。不適切だと思うので、ない方がいいと思う。

参加者3：参加者に保護者がいないと思う。2年くらい前に教育についての説明があったときにはPTA会長なども来られていた。ちょっと保護者への周知が弱かったのかなと思う。あと何回かあるので、周知の方法も考えたらと思う。

山陽新聞の記事にもなっているが、新聞を取っていないところも多いし、広報たまのも見えていないし、この時間に足を運ぶには子どもがいてということもあると思うが、一番の利害関係者は保護者だと思うので、何かいい方法はないかと思う。

参加者6：3年生の社会や総合の時間に、1年を通して地域のことを知り、最終的には地域の気に入ったことを発信しようとか、気に入りをたくさん見つけていこうというような勉強をする。

子どもたちには地域をもっともっと好きになってほしいし、玉野に住んで、玉野を盛り上げる中心になってほしいという思いで勉強を一緒にやっているが、いま人

が減る話ばかりしているような気がして、財源がなくなるとか、児童が減るとか、マイナスのイメージが大きくなってきている。子どもたちに、人口が減るからどうやって止めるという話はしたくなくて、玉野を盛り上げていく未来、希望のある話をしてあげたいので、行政としてどんな手立てを考えているのかを教えてほしい。

教総課長：行政でとなると玉野市全体の話になって、我々教育委員会が直接携わっていることではないが、例えば移住者を呼び込むために東京や大阪でPR活動をしていたり、移住者に対する補助の制度を考えたりということはしている。あるいは玉野市の魅力を「すみたま」という活動を通じて発信したりと、行政としても様々取り組んではいるが、日本全体のパイが小さくなっている中、どうしても取り合いになって、思うようには成果が上がっていないというのが現状だ。

参加者2：最初の説明でメリットの裏返しはデメリットと言っていた。この項目を見たときに、メリットはそうだなと思うが、デメリットはメリットの裏返しでないところがたくさんあって、似たような項目がずらっと並んでいる。メリットの5番「運動場や体育館、特別教室などが余裕をもって使える」の裏返しは何だろうかとか、6番、8番なども裏返しではないと思いながら見た。デメリットに出てることは、創意工夫だとか違う視点から見れば、それこそ本当に裏返しでメリットになることもたくさんあると思うので、統廃合せずに行ったらいいというのはある。

もう一つ、子どもたちにもアンケートを取ることだが、荘内小の子は自分たちの学校に誇りを持って生活しているのでいい評価を付けると思うが、大規模校なので全体に占める割合が大きくなって、大規模校の方がいい、小規模校はまずいとならないようにしてほしい。

教総課長：児童生徒のアンケートは、無記名だが学校名は回答してもらおう。もちろん全体としての集計は出すが、小規模校の集計、あるいはその逆もできるので、きちんと評価したい。

参加者1：少人数の方がいいという子も大事にしてあげてほしい。

参加者5：表に支援学級は除くとあるが、支援を必要とする子たちへの指導というか、統廃合時にどうなるか、不適合を起こす子がたくさんいると思うのでとても心配だ。そのあたりの配慮、考え方がここに入っていない。支援学級を除くことに進んでいるので、そこは入れるべきと思う。

教総課長：学級数の合計が支援学級を除いてこれだけになるという表だ。今後仮に統合したとしても支援学級は存在する。「除く」というのは、無くすという意味ではない。

参加者5：統合すると子どもの数が増える。

教総課長：そのぶん支援学級も増えるとは思う。

参加者1：特学は含めないとあるが、いまは特学という言葉は使わない。

教総課長：修正する。